

東日本大震災

名古屋って、あったかくて、いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

令和2年5月25日発行 (第120号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)
FAX：052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



新型コロナ感染症についての緊急事態宣言が解除されました。ようやく!という嬉しい気持ちもありますが、愛知県ではまだ宣言継続中(5/20現在)で、油断せず対策を取り続けるという意味では、まだ緊張感を保つ日々が続きます。学校も再開予定で、休業していたお店も再開の動きがありますが、発表された「新しい生活様式」を念頭に置きつつ、社会生活を送って行きましょう。



間もなく梅雨入りです



例年、6月に入ると、梅雨入りの声が聞かれます。今年も間もなくですね。

洗濯物は乾かないし、傘を持ち歩くなど荷物も増え、足元や服・荷物が濡れるなど、出掛けるのが憂鬱になったり、気分が晴れない方もいるかと思えます。

でも、この雨の季節に綺麗に咲く「紫陽花(アジサイ)」は、これから見ごろで、皆さんの目を楽しませてくれます。このアジサイは、花びらに見える部分は「ガク」で、本当の花弁は、ガクの中心部にある小さい粒々だそうです。このガクは、葉っぱが変化したもので、根から吸収される養分によって色が変わります。酸性なら青色、アルカリ性ならピンク色となるということは聞いたことがある方も多いと思います。

アジサイの「アジ」は「あじ」で集まること。「サイ」は「真(ま)の藍(あい)」を約したもので、青い花が集まって咲くことから付けられた名前と言われています。

アジサイは、日本原産の植物で、古くは奈良時代「万葉集」に登場しますが、現在 私たちが目にするアジサイの多くは、18世紀末に日本のガクアジサイが中国を経由してヨーロッパに送られて改良された洋種アジサイ(ハナアジサイ)だそうです。その後、日本でも改良がおこなわれ、様々な品種が見られます。母の日にアジサイの鉢を贈るのも人気だそうです。

また、名古屋にも、東山動植物園や鶴舞公園など美しいアジサイが見られる場所がありますが、現在は閉園中だったり、利用制限があったりするようです。詳細は、それぞれのホームページでご確認ください。

被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:令和2年6月16日・30日 全て火曜日 10時15分~12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室
(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ

材料費:1回500円~(実費相当)



寺子屋 NIT!

3月をもって、休止することになりました。再開する時は、またご案内します。